

大会宣言

昨年から猛威を振るい始め、いま全世界を不安に陥れている新型コロナウイルス感染症の流行は、当たり前と考えていた日常生活や、普通と思っていた学校教育を根底から見直さなければならない状況を生み出しています。時間や経験など、非常事態宣言や学校への臨時休業要請によって失われたものは大きく、それを取り戻すことは容易ではありません。

しかし、この体験の中で、子どものために優先する課題は何か、守るべきことは何か、という教育の本質に迫る議論が必要とされ、私たち教職員の力量や意志が問われています。

島根県教職員組合は、結成以来 74 年間、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを掲げ続けてきました。そこには、すべての子どもや教職員の「平和で安心して心豊かに生きたい」という願いがこめられています。私たちはその願いを大切に受け継いできた自負をもち、実態こそ戦争とは違えども、大きな困難として立ちはだかっているコロナ禍の中で、大いに力を発揮し、島根県教育の本流となってリードしていくことができるのではないのでしょうか。

本日の定期大会は、厳しい状況の中、オンラインという新しい形をとって実施し、新たな歴史を刻むことになりました。空間を超えて結集し、議論できたことは、困難な中でもねばり強く運動を進めていくことへの確信を深めるものであり、島根県教職員組合の存在感を示すものになりました。

私たちは、この島根県教職員組合の旗の下に結集し、
◇困難を乗り越える、ほんとうの学校教育をめざし、
◇少人数学級制度の見直しや教職員評価の給与への反映など、道理のない政策に反対し、
◇超過勤務・多忙化の解消で働きやすい職場をつくり、
◇希望ある道筋を示して仲間を増やすことを宣言します。

2020 年 7 月 24 日

島根県教職員組合第 78 回定期大会